

研究タイトル：

## 日本古代寺院造営事業の研究



氏名：	徳竹 亜紀子／TOKUTAKE Akiko	E-mail：	tokutake@sendai-nct.ac.jp
-----	-----------------------	---------	---------------------------

職名：	准教授	学位：	博士(文学)
-----	-----	-----	--------

所属学会・協会：	東北史学会, 木簡学会, 正倉院文書研究会, 続日本紀研究会
----------	--------------------------------

研究分野：	日本史, 日本古代史, 史料学
-------	-----------------

キーワード：	日本古代史, 寺院造営, 正倉院文書, 算額, 和算
--------	----------------------------

技術相談 提供可能技術：	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史学の基礎知識</li> <li>・歴史資料の読解</li> <li>・赤外線カメラを用いた歴史資料・文化財の撮影</li> </ul>
-----------------	---

### 研究内容：

#### ■ 研究内容

- ・日本古代の造営事業における機構, 財源, 資材・技術者確保の実態解明と, 関連する法制度
- ・正倉院文書の復元と読解
- ・算額の調査研究
- ・赤外線カメラを用いた歴史資料・文化財の撮影
- ・律令国家による東北支配政策における南東北の位置づけ

#### ■ 研究シーズ

私は日本古代国家が寺院などの大規模な建造物の造営をどのように実現したのかという問題について, (1)組織, (2)財源, (3)資材や労働力の確保, (4)技術者の動員といった観点から研究しています。

また, 近年は各地の寺社に奉納された算額の調査研究も進めています。この研究では歴史学と数学の研究者によるグループを立ち上げ, 両者の専門性を活かして共同研究として進めている点に特徴があります。また, 調査に際しては赤外線カメラを活用し, 墨が薄れて肉眼では読みにくくなった算額の文字読解を試みています。

#### ■ 関連論文

- ①「天平宝字年間における法華寺金堂の造営 —作金堂所解の検討を中心に—」(『正倉院文書研究』9号、2003年)
- ②「文書行政における告朔解の意義」(『正倉院文書研究』10号、2005年)
- ③「阿弥陀浄土院造営機構の再検討」(『ヒストリア』207号、2007年)
- ④「古代の作画事業と画工司」(『古代文化』第65巻第1号、2013年)
- ⑤「画所解考」(『国史談話会雑誌』第54号、2014年)
- ⑥「金光明寺造物所をめぐる一試論」(『国史談話会雑誌』第56号、2015年)
- ⑦「古代越後国の国府と城柵」(熊谷公男編『古代東北の地域像と城柵』高志書院、2019年)
- ⑧「舞野正観音堂奉納算額の調査」(『仙台高等専門学校名取キャンパス研究紀要』第56号、2020年)
- ⑨「宮城県白石市小原地区の算額調査」(『仙台高等専門学校名取キャンパス研究紀要』第57号、2021年)
- ⑩「2021年度の算額調査」(『仙台高等専門学校名取キャンパス研究紀要』第58号、2022年)

#### 提供可能な設備・機器：

名称・型番(メーカー)